

大学進学 自己チェック・シート — 7つのポイント

=====
皆さんは、高校卒業後の“自分”をイメージしたことがありますか。多くの先輩が大学に進学しているので「自分もどこかの大学に」と思っている人は多いはず。では「どんな大学に？」「何のために？」と聞かれた時に、ハッキリとした回答ができますか。

もし、あやふやな気持ちで進学すると、大学に入ってから「考えていた大学生活と全然違う」「ほかの学部・学科に移りたい」ということになって、せっかくの大学生活がスタートからつまらないものになってしまいます。ここでは、大学に進学してから「こんなはずじゃなかった」とならないために、高校時代に押さえておくべき7つのポイントを紹介することにしましょう。

進学したい学部や学科が決まっている。

* 進学したいと考えている学部や学科は複数でもOK。学部や学科は決まっていなくても「英語の力を活かしたい」「バイオを学びたい」など大学で学びたいことが決まっていれば構いません。具体的な大学名は決まっていなくても、学びたいことは早めに決めておきましょう。

なぜ、その学部や学科に進学したいのか、自分なりの理由が語れる。

進学すると大学（学部・学科）ではどのようなことを学ぶのか、大学案内や学部案内、ホームページで調べたことがある。

大学卒業後の進路について考えたことがある。

* 静岡大学では理系学部・学科卒業生の半数以上が大学院に進学しています。進学も含めて、卒業後のことについても考えておきましょう。

進学するにはどのくらいかかるのか、経済的なことを調べたことがある。

* 進学するにはおカネがかかります。静岡大学の授業料は年額 535,800 円（人文社会科学部 夜間主コースは 267,900 円）です。このほかに入学料 282,000 円（夜間主 141,000 円）が必要になります。4年間の学生生活は、学費だけで約 250 万円（夜間主 125 万円）になります。（令和3年度実績）

進学を希望している学部や学科の入試制度・入試科目を調べたことがある。

* どのような入試で合格を目指すのか。一般選抜（前期日程・後期日程）や大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜ならば、まずは大学入学共通テストを受験しなければなりません。学部・学科によって課される教科・科目が異なります。静岡大学の総合型選抜や学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを課さない入試も複数用意されています。

過去にどのような問題が出題されているのか、過去問を調べたことがある。

* 出題傾向は調べておいたほうが良いですが、実際に過去問にチャレンジするのは入試直前でいいでしょう。面接や実技などが課される入試も過去の出題例を調べておくと安心です。

大学に進学してからも大きな目標を持って学生生活を送りましょう